

渋谷区制施行80周年記念

# 田淵俊夫展

いのちの  
煌めき

2012  
6.5[火]~7.22[日]

〔主催〕渋谷区立松濤美術館・東京新聞

〔開館時間〕10時~18時

(毎週金曜日は19時閉館：入館は閉館30分前まで)

〔入館料〕一般300円(240円) 小中学生100円(80円)

※( )うちは団体10名以上。

60歳以上および障害のある方と付添いの方1名無料

毎週土曜日は小中学生無料

〔休館日〕6月11日(月)、18日(月)、25日(月)

7月2日(月)、9日(月)、17日(火)

渋谷区立松濤美術館

The Shoto Museum of Art

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL 03-3465-9421

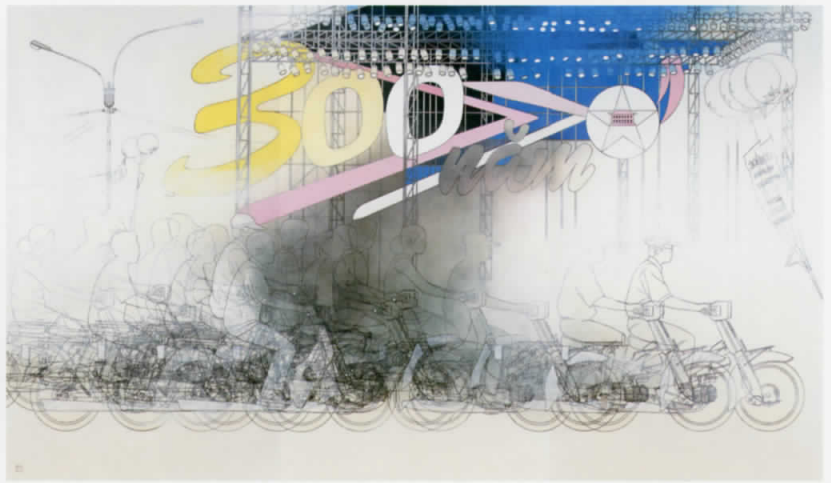
<http://www.shoto-museum.jp/>

《泊》1998年・個人蔵





《流転》1983年 箱根・芦ノ湖 成川美術館蔵



《時の証人II》2000年 今治市大三島美術館蔵

渋谷区制施行80周年記念

## 田淵俊夫展 いのちの煌めき

渋谷区在住の画家田淵俊夫(1941～)は、日本画の重要な特質である精神性と装飾性を継承し、圧倒的な技術と優れた色彩感で、日本画の魅力を再認識させる作品を生み出し続けています。その画題は、植物と風景が主となっています。植物を描いた作品からは、生命のたくましさや生命の連鎖に対する畏敬の念を見ることができます。また、風景を描いた作品からは、悠久の時に対する画家の感動を看取できます。今回の展覧では、田淵の45年にわたる画業を、東京藝術大学大学院終了後に渡ったナイジェリアで取材した《ヨルバの花》から、昨年の震災を目の当たりにして鎮魂と再生の気持ちをこめて描かれた横10メートルの大作《惶》など30点の作品により回顧致します。真摯な写生、卓越した絵画技法に裏付けられた深い精神性に富む田淵芸術の真髄を堪能いただけると幸いです。

| 講演会 | 「自作を語る」田淵俊夫(画家) 6月9日(土) 午後2時～

作家によるギャラリートーク

6月23日(土) 午後2時～  
7月7日(土) 午後2時～

学芸員によるギャラリートーク

7月14日(土) 午後2時～

美術映画会

6月30日(土) 午後2時～「東山魁夷」  
7月21日(土) 午後2時～「上村松篁」

次回展のご案内

「藤田嗣治と愛書都市パリ—花ひらく挿絵本の世紀」  
7月31日(火)～9月9日(日)



《天山》1992年 箱根・芦ノ湖 成川美術館蔵



《尾州八題之内 岩屋堂》1978年 メナード美術館蔵



《ヨルバの花》1968年 名古屋市美術館蔵



### 渋谷区立松濤美術館

The Shoto Museum of Art

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14

TEL 03-3465-9421 <http://www.shoto-museum.jp/>

渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

ハチ公バス 丘を越えてルート(上原・富ヶ谷ルート)「松濤美術館入口」下車徒歩3分